

令和5年度

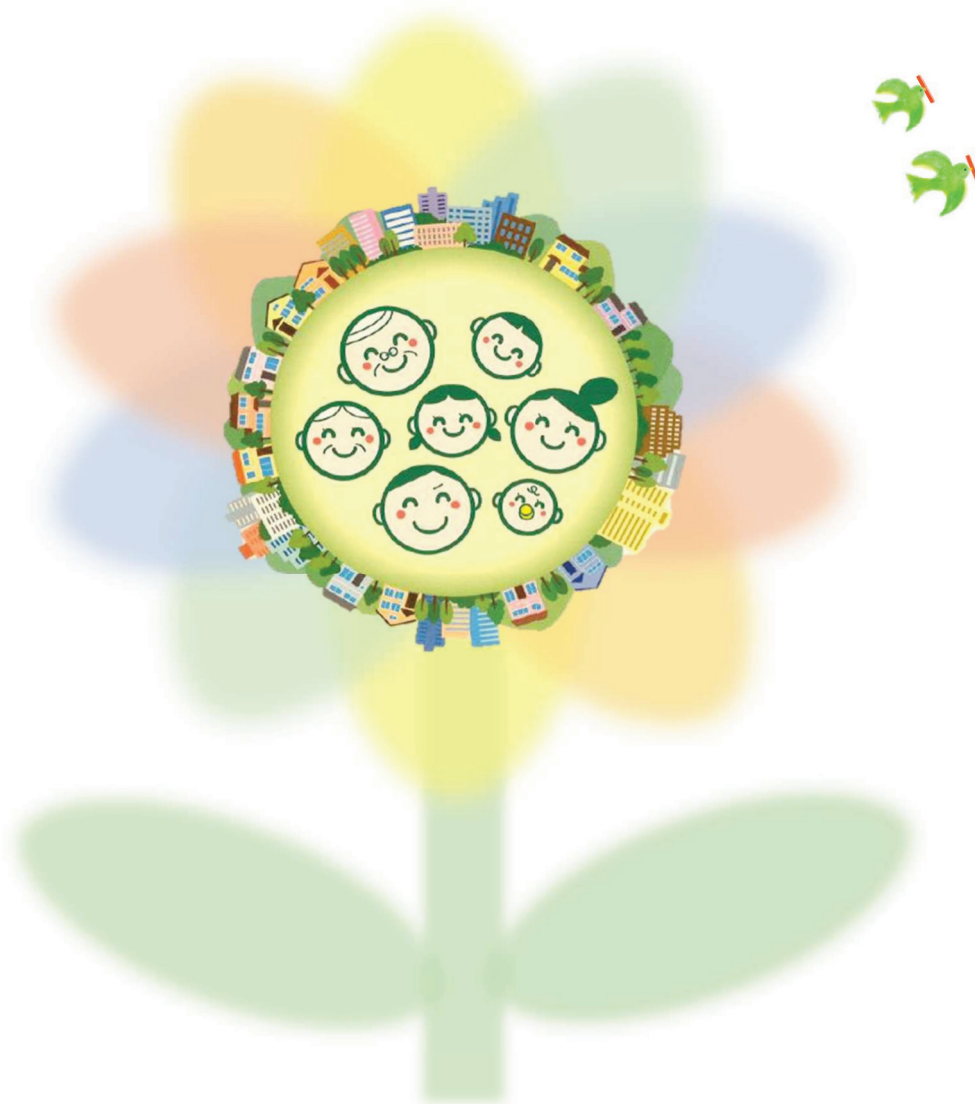
# 佐賀市地域づくり交流会

じ ぞく か のう

## 持続可能なまちづくり

あか みらい

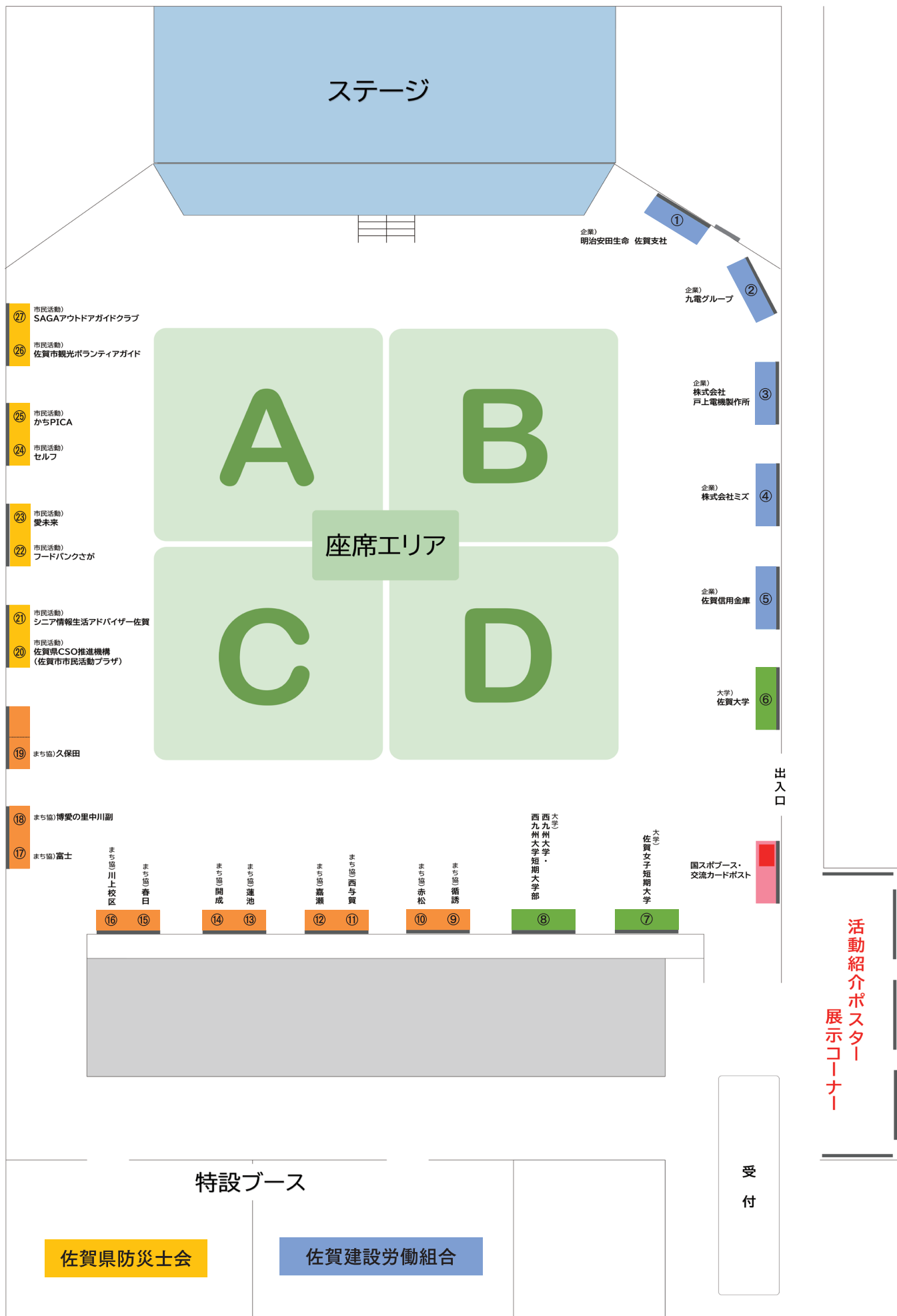
～明るい未来へつなぐバトン～



[期 日]令和6年1月27日(土) 9:30～12:00

[会 場]メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)

# 会場案内図



ステージ

① 企業) 明治安田生命 佐賀支社

② 企業) 九電グループ

③ 企業) 株式会社 戸上電機製作所

④ 企業) 株式会社ミス

⑤ 企業) 佐賀信用金庫

⑥ 大学) 佐賀大学

出入口

国スポブース・交流カードポスト

活動紹介ポスター  
展示コーナー

受付

座席エリア

A

B

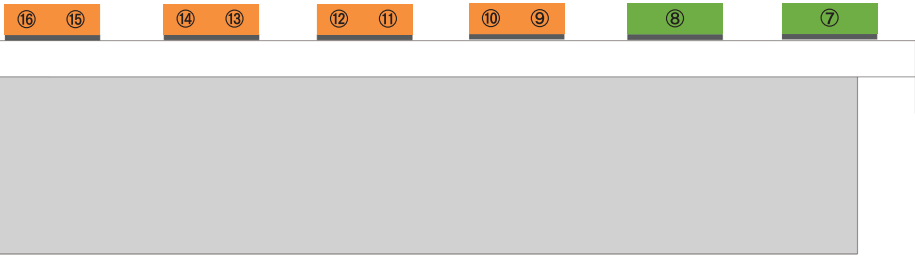
C

D

特設ブース

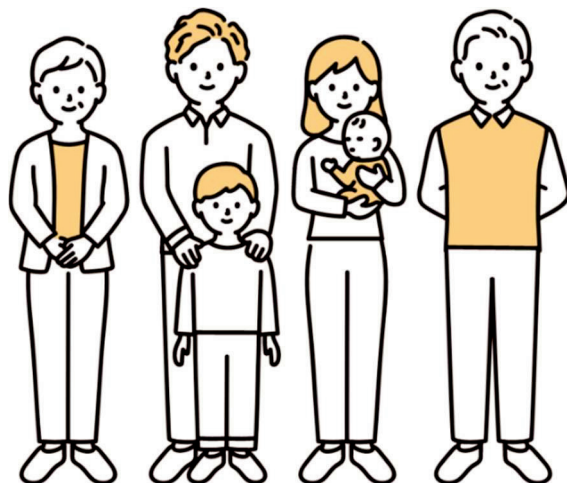
佐賀県防災士会

佐賀建設労働組合



# 目 次

1	プログラム	1
2	ファシリテータープロフィール	2
3	参加団体一覧	3
4	活動の紹介	6
	まちづくり協議会	6
	市民活動団体	38
	企業	50
	大学	58
5	関連資料	62



# プログラム

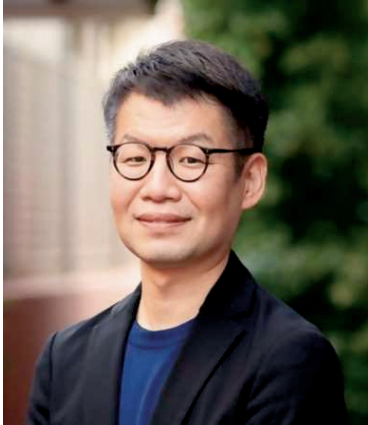
時間	内容
9:30	開会あいさつ
9:35 ~ 10:00	<b>基調講演</b> 「私からはじまる協働のまちづくり」 ～子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性～ 講演:花園大学 社会福祉学部 准教授 深川 光耀 氏
10:00 ~ 10:30	<b>事例発表</b> ①春日北まちづくり協議会 発表者:春日北まちづくり協議会 副会長 安富 千鶴 氏 ②佐賀県防災士会 発表者:佐賀県防災士会 代表 溝上 良雄 氏
10:30 ~ 10:45	<b>アイスブレイク</b> 「4 マス自己紹介」 ファシリテーター:深川 光耀 氏
10:45 ~ 11:50	<b>さが・まちづくり広場</b> 参加団体の活動内容を紹介するブースやパネルを設置します。 会場内を自由に見て歩き、ブースで話を聞くなど交流を行います。 なお、今年度は多目的室に特設ブースも設けております。 会場案内図は表紙裏をご参照ください。 <b>【多目的ホール】</b> ①明治安田生命佐賀支社 ②九電グループ ③株式会社戸上電機製作所 ④株式会社ミス ⑤佐賀信用金庫 ⑥佐賀大学 ⑦佐賀女子短期大学 ⑧西九州大学・西九州大学短期大学部 ⑨循誘まちづくり協議会 ⑩赤松まちづくり協議会 ⑪西与賀まちづくり協議会 ⑫嘉瀬まちづくり協議会 ⑬蓮池まちづくり協議会 ⑭開成まちづくり協議会 ⑮春日まちづくり協議会 ⑯川上校区まちづくり協議会 ⑰富士まちづくり協議会 ⑱博愛の里中川副まちづくり協議会 ⑲久保田まちづくり協議会 ⑳NPO法人佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ指定管理者) ㉑NPO法人シニア情報生活アドバイザー佐賀 ㉒NPO法人フードバンクさが ㉓NPO法人愛未来 ㉔NPO法人セルフ ㉕かちPICA ㉖佐賀市観光ボランティアガイド ㉗NPO法人SAGAアウトドアガイドクラブ <b>【多目的室】</b> ○佐賀建設労働組合 ○佐賀県防災士会
11:50 ~ 12:00	振り返り・まとめ
12:00	閉会





# ファシリテータープロフィール

## 深川 光耀 (ふかがわ こうよう) 氏



花園大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授。

佐賀市生まれ、京都市在住。

立命館大学大学院社会学研究科博士課程後期課程修了。

博士(社会学)、専門社会調査士。

専門は、住民主体のまちづくり、対話の場づくり。

1965年から50年以上にわたって住民主体のまちづくりに継続して取り組む神戸市長田区真野地区のまちづくりに学ぶ。

金沢市のまちづくりシンクタンク(株)計画情報研究所の研究員、京都市のまちづくりアドバイザーを経て、現在に至る。

「小地域における地域課題の解決のあり方とその担い手に関する研究」をテーマとしながら、各地域やプロジェクト(子ども食堂の運営、市民参加型の対話の場づくり)などに関わる。

## 主な委員等

- コミュニティ政策学会 理事
- 京都市政策評価委員会 委員
- 中京区基本計画推進会議 座長
- 公益財団法人草津市コミュニティ事業団ひとまちキラリまちづくり助成 審査委員長
- 守山市中間支援組織のあり方研究会 委員長

## 著書

- 単著『私発協働のまちづくり 私からはじまる子どもを育む地域活動(仮)』  
晃洋書房、2024年3月出版予定
- 分担執筆『はじめてのファシリテーション 実践者が語る手法と事例』昭和堂、2019年

## 参加団体一覧

団体名	ページ	ブース番号
勸興まちづくり協議会	7	
循誘まちづくり協議会	8	⑨
日新校区まちづくり協議会	9	
赤松まちづくり協議会	10	⑩
神野まちづくり協議会	11	
西与賀まちづくり協議会	12	⑪
嘉瀬まちづくり協議会	13	⑫
巨勢まちづくり協議会	14	
兵庫まちづくり協議会	15	
高木瀬まちづくり協議会	16	
北川副まちづくり協議会	17	
本庄まちづくり協議会	18	
鍋島まちづくり協議会	19	
金立まちづくり協議会	20	
久保泉まちづくり協議会	21	
蓮池まちづくり協議会	22	⑬
新栄まちづくり協議会	23	
若楠まちづくり協議会	24	
開成まちづくり協議会	25	⑭
諸富町まちづくり協議会	26	
春日まちづくり協議会	27	⑮
春日北まちづくり協議会	28	
川上校区まちづくり協議会	29	⑯
松梅まちづくり協議会	30	
富士まちづくり協議会	31	⑰
南川副まちづくり協議会	32	
西川副まちづくり協議会	33	
博愛の里中川副まちづくり協議会	34	⑱
大詫間まちづくり協議会	35	
東与賀まちづくり協議会	36	
久保田まちづくり協議会	37	⑲

## 参加団体一覧

団体名	ページ	ブース番号
NPO法人 愛未来	39	㉓
NPO法人 おせっかい工房咲風里	40	
かちPICA	41	㉔
NPO法人 SAGAアウトドアガイドクラブ	42	㉗
NPO法人 佐賀県CSO推進機構(佐賀市市民活動プラザ指定管理者)	43	㉐
佐賀県防災士会	44	特設
佐賀市観光ボランティアガイド	45	㉖
NPO法人 シニア情報生活アドバイザー佐賀	46	㉑
NPO法人 セルフ	47	㉒
NPO法人 フードバンクさが	48	㉚
夢つなぐ応援隊	49	
九電グループ	51	㉙
佐賀建設労働組合	52	特設
佐賀信用金庫	53	㉕
株式会社 戸上電機製作所	54	㉓
株式会社ミズ	55	㉔
明治安田生命 佐賀支社	56	㉑
佐賀女子短期大学	59	㉗
佐賀大学	60	㉖
西九州大学・西九州大学短期大学部	61	㉘

まち協

31団体

市民活動

11団体

企業

6団体

大学

3団体

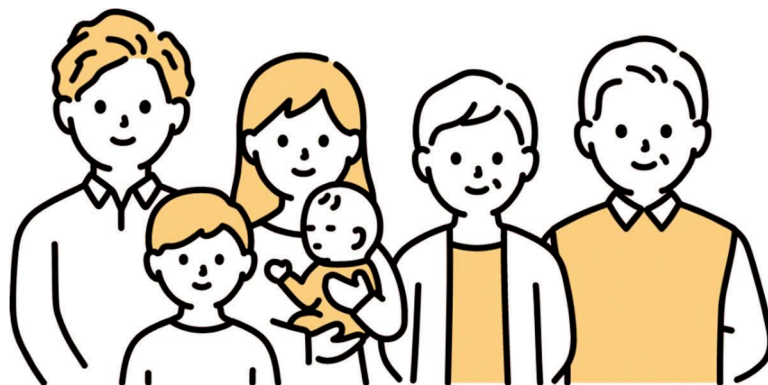
参加総数

51団体



# 活動の紹介

まちづくり協議会

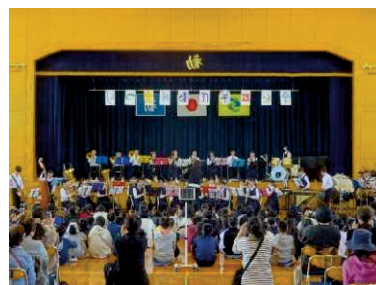


# 勸興まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

合言葉は「勸興皆一家」。勸興校区に集う人はみんな家族だという合言葉の基、皆が集えるまちづくりを目指しています。今年は4年ぶりに従来の形で開催された「勸興まつり」をご紹介します。

地域と小学校が融合して開催される「勸興まつり」は、それまでは別々に開催されていたものを、25年ほど以前に、児童数の減少を受けて始められた、地域と学校との協働による地域おこしです。午前中は児童による発表会（フリー参観日）、午後は地域主催のイベントと抽選会です。開会式では、6年生の児童と自治会長が同じ神輿を繋いで体育館の中を一周する「神輿つなぎ」で始まります。大きな掛け声とともに、神輿が進みます。今年の午後のイベントは、成章中学校のブラスバンドによる演奏会。参加してくれた部員からも「久しぶりにこの体育館に来て嬉しい」という言葉が出ていました。もう一つは「老人クラブ連合会」昭和の青年たちによるリズムダンス。今年の演目は「私は今日まで生きてきました」。児童からの大きな拍手。地域がひとつになる瞬間です。



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

今後の課題としては、次代を担う方々の発掘と共に、コロナ前の形を継承するだけでなく、新しい地域づくりの形を模索することも必要ではないかと感じているところです。特に小学校は人が移動していくところなので、地域と同じ意識を維持してもらうことの難しさを感じていますが、「勸興皆一家」の合言葉のとおり、皆が集まってきてくれるまちを目指しています。老若男女が笑顔で交流する「勸興皆一家」を目指してこれからも生きて行きます。

## 今後の展望や夢、目標など

今は それぞれに頑張ってくれる方も多くいるけど、年齢の高齢化が進んでいる けど 現役世代の方々にも参加して頂いて、次代を担うリーダーを発掘しバトンタッチ して 継続的に行事等を進めて行けるような地域社会にしていき、我々はバックアップ したい

課題は 現に地域にいる若い世代の方々に、地域社会とのつながりを敬遠する傾向があるということ。小学校の保護者という位置にいる間は、子どもを通して地域とのつながりがあるが、子どもの卒業を契機として、地域との関りを拒む傾向が強い。意識改革が必要だと思う。

代表者

勸興まちづくり協議会 会長 小城原 直 （作成責任：副会長・福島）

連絡先

勸興公民館 住所：佐賀市成章町1番8号 電話：23-6303



# 循誘まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢（特色）したいこと

循誘まちづくり協議会は、設立して8年目となりました。「心ゆたかなまち じゅんゆう」を全体目標として掲げ、4つの部会（地域活性化部会、環境・防災・防犯部会、健康づくり・福祉部会、子どもへのまなざし部会）が、「循誘まちづくり計画」に基づき、様々な事業・行事を通し、豊かで住みよい地域づくりに取り組んでいます。特に、地域（校区）全体に関わる事業・行事については、地域の諸団体と一緒に実行委員会を立ち上げ、企画・運営をしています。



※「循誘ふれあいふるさと祭り(10月)」、「春のじゅんゆう文芸賞(2月)」は実行委員会企画・運営をしています。(右図参照)



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

新型コロナウイルス感染症で私たちの生活様式も様変わりしました。“新たな当たり前”を認識し、人と人との関わり方・あり方や、地域のあり方を考慮・整理し、まちづくり協議会をさらに充実・発展していくことが大切と考えています。今年も、多くの人に関わり、地域のつながりを育むような地域行事が節目を迎えました。まさに“afterコロナ”にふさわしく、まちづくり協議会をさらに充実・発展させていくため、会員一丸となって事業を盛り上げ、地域の活性化を図っています。

### 令和5年6月10日(日)“カレーの日”10周年

今年で10年を迎えた“カレーの日”は地域の方の相互交流を主な目的に、各種団体・サークルの方が月別の担当となり、毎月10日に、カレーを提供しています。今回のカレーの担当は、男性料理クラブ。牛のテールをたっぷり使いパンチの効いた濃厚カレー。ピアノリサイタルもあり、10周年記念にふさわしい“カレーの日”となりました。



### 令和5年10月28日(土) 10回目を迎えた“循誘ふれあいふるさと祭り”

コロナ禍のため、中止の時もありましたが、今年で10回目を迎えました。当日はお楽しみ抽選券も12時前には完売。また地域の方の出店ももとより、キッチンカーの出店もあり、大いに賑わいました。



### 第20回“春のじゅんゆう文芸賞” 作品の申込期間R5.12.1～R6.1.15

今年で20回目を迎えた“春のじゅんゆう文芸賞”。この事業は、「佐賀城下ひなまつり」の開催に合わせ、校区内外から公募した文芸作品（俳句・川柳・1行詩）を短冊にして、「佐賀城下ひなまつり」のメイン会場である“歴史あふれる町『循誘校区』”に展示します。この活動を通し、地域の方相互の連帯感を高め、地域の方と観光客の方との交流を図り、“情緒豊かな趣のあるまちづくり”をめざします。



## 今後の展望や夢、目標など

現在、循誘まちづくり協議会では、24の事業所・団体、会員約100名で構成しています。コロナの流行前は、120名を超えていました。しかしここ数年、コロナ禍のため、会議が開催できなかったり、事業・行事等の中止や縮小だったこともあり、会員が約100名に減少してきています。そのため今後は、後継者育成と人材発掘に力を入れていく必要があると思っています。

まち協の本部としても、佐賀市主催の交流会への目的を持った参加は勿論、他地区のまちづくり協議会への視察研修など実施し、まち協の組織の活性化・充実を図っていきたく思います。

代表者 循誘まちづくり協議会 会長 平川 哲男  
連絡先 循誘公民館 住所：佐賀市大財二丁目2-52 TEL/FAX：0952-23-3759

# 日新校区まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

日新校区は反射炉を代表とした歴史が息づいた校区です。  
毎年8月に開催される日新まつりではカノン砲が大きな音でまつりに花を添えてくれます。

また、日新小名物の藤の花見茶会では、6年生を対象にお茶を振る舞い、地域の大人と子どもの交流を図ると共に、児童生徒に貴重な伝統文化の体験を提供しています。

このように、一年を通して行事の多い日新校区はいつも賑やかで、結束力が強いのが自慢です！



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で中止を余儀なくされていた各種行事ですが、令和5年度ではほぼ復活開催をすることが出来ました。どの行事も多くの方々が参加され、いよいよ日新校区の本領発揮といった一年でした。しかしながら、行事の運営にはたくさんの労力が必要になるため、それぞれが無理をせず、自分が出来るだけの気持ちを念頭に置き、各種行事の運営に努めました。

## 今後の展望や夢、目標など

今は \_\_\_\_\_ 会員内で夢プランの認知度が低い \_\_\_\_\_ けど  
\_\_\_\_\_ 夢プランを再認識 \_\_\_\_\_ して  
日新校区を持続可能で魅力あふれるまちにするための実行力をつけたい！！

### 【具体的に】

まちづくり協議会立ち上げの際に掲げた「夢プラン」を現在の役員のほとんどが認識していませんでした。「夢プラン」はまちづくり協議会がどこへ進んでいくのかを指し示す羅針盤のようなものです。そこで、今後は「夢プラン」の見直しも視野に、認知度を高め、「夢プラン」に沿った事業を展開し、日新校区の魅力を高めていきたいと思えます。

### 代表者

日新校区まちづくり協議会 会長 稲葉 嵩広

### 連絡先

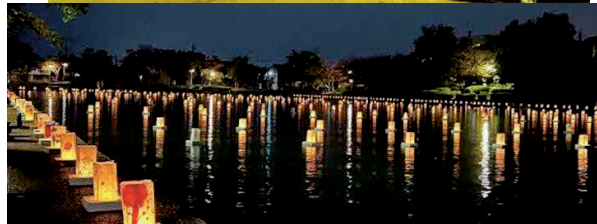
日新公民館 住所：佐賀市長瀬町1番20号 電話：26-9216



# 赤松まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

赤松の活動のターゲットは①子ども②高齢者③防災の3つ。次代を担う子どもたちが大人になった時「赤松で暮らせてよかった」と心から思える体験をたくさん与えることを一番に考え、実行。鯨の門まつりやお堀灯ろうまつりなどのビッグイベントはもちろん、餅つきやバーベキュー、様々な学習体験イベントを次々に実施してきました。4年前のコロナ発生の年には祭ができないなら、と初のドライブインシアターを敢行、赤松小グラウンドに200台を収容、若いファミリーを満足させたことも。ふた月に1回の子ども食堂も、公民館で一緒に食べるスタイルから配達方式に変え、休むことなく実施しています。



高齢者には赤松公民館までの青パト送迎はじめ、様々な「地域の便利屋活動」を展開。今年元気部会が初めてのバスハイクも楽しみました。

防災は佐賀市危機管理防災課や県土木事務所とタッグを組み、お堀の貯水力アップなど年々激しさを増す水害対策を着実に強化。早速今年は床上ゼロを実現しました。

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナはその強い感染力のため、集まれないという地域活動にとっては致命的問題を投げかけました。この結果、男性高齢者はますます家に籠りがちになりましたが、コロナが収まり、5類に引き下げられた今年度は校区社協と赤松公民館がそれぞれ月1回、彼らの引っ張りだし作戦を展開。そば打ちやバスハイク、さらには「自画自賛会」など魅力的でユニークな集まりを企画、実行。徐々に参加率を高めているようです。

また赤松公民館内外を明るくして、孤独感におさらばしようとライトアップ作戦を計画。この実行部隊として60歳以下の若手？メンバーを集め「わいわいがやがや会」が発足。当然、彼らは次世代のまち協リーダー候補生。これを機に組織の原動力への期待感も高まります。

## 今後の展望や夢、目標など

少子高齢化と地球温暖（沸騰？）化が止まりません。近い将来消滅する地域も出るなどと喧伝されています。いずれにしろ経済が急速にひっ迫してきたのは確か。我々地域活動にとっても将来的に活動費の圧縮化が心配です。地域の将来への夢を掲げ活動する協議会にとって資金的裏打ちは欠かせません。自ら稼ぎ出すにもボランティア頼みの現状では極めて心細い。沖縄県などでは県立博物館も今や指定管理者が運営しており、第3セクター化などまち協を法人化するなどを真剣に議論する時代が来ていると考えています。これには国はもとより県や市の強力な後押しが必要です。3年おきの事業費申請をして報告書を書く今のスタイルから歩を進め、地域活動の「経営」を早急に模索するフェーズを迎えていると考えています。パイロット的に赤松から始めていただいてもむろん結構。何から始めるか、自治体と地域で協議していきましょう。

赤松まちづくり協議会 会長 福田 伸裕  
連絡先

赤松公民館 住所：佐賀市中の館町4番10号 電話：23-6002

# 神野まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

本会は「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」を目標に掲げ、神野校区に住んでいる人たちが、お互いに交流と親睦を図り、豊かで住みよいまちづくりに取り組もうと平成 26 年（2014）6 月 25 日に設立されました。

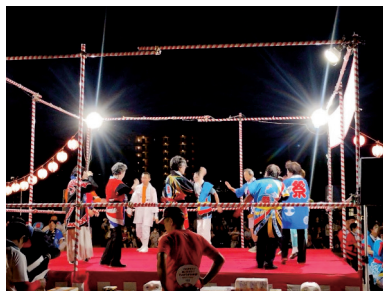
子どもから高齢者まで楽しめる「神野校区夏まつり」、地域の団結と親睦を図る「神野校区民スポーツ大会」、質の高い文化芸術に触れることを通して豊かな感性を育む「神野芸術祭」、公民館自主サークル活動の成果を発表し、地域交流の場とする「公民館文化祭」、地域の子どもの見守り、地域全体の安全・安心を図る「地域の安心・安全見守り事業」など、協議会本部が主体となって行います。また、当協議会には 5 つの専門部会を設けて事業を進めています。

- ① 集い・交流の盛んなまちづくり部会……神野総参加ラジオ体操、お菓子づくりなど
- ② 子育てしやすいまちづくり部会……カブトムシ大会、ぼたもち会など
- ③ ご近所で支えあうまちづくり部会……地域の絆交流会（豚汁会、脳トレ、健康ウォーキング）など
- ④ 次の担い手が多いまちづくり部会……会報の発行、ホームページの充実など
- ⑤ 防犯・防災意識の高いまちづくり部会……防災講座、防犯講座、災害マップ作成など

【神野校区夏まつり】

【神野校区民スポーツ大会】

【神野芸術祭】



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で地域行事の中止が続き、私たちは少しさみしい思いをしました。そんな中、昨年 12 月に「神野が元気になるように」との思いを込め、役員会で協議しイルミネーション点灯を企画しました。

まだまだ小さな灯りですが、今後少しずつでも灯を増やし大きく明るく照らし、地域の思いがさらに集まり豊かで住みよいまち神野になるように、皆で力を合わせて頑張りたいと考えています。



## 今後の展望や夢、目標など

私たちは、これまで豊かで住みよいまちづくりのために、いろいろな行事に取り組んでいました。ところが、コロナ禍で開催できなかったことで「誰のための、何のための行事なのか」を再考する契機となりました。

例年同様ではなく、各自が思いや考えを出し合い協議し内容を精選する中で互いの関わりも一層強まっています。これからもまちづくりの活動を通して地域の結びつきを深め、さらにはすばらしい神野になるよう努めます。

代表者 神野まちづくり協議会 会長 塚原 康弘

連絡先 神野公民館 住所：佐賀市神野西 1-4-7 電話：0952-30-6702



# 西与賀まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

西与賀町での大きな行事に7月「朝ラジ&避難訓練」、8月「にしよか夏祭り」、9月「町民運動会」、11月「にしよか文化祭」12月「にしよかライトファンタジー」2月「防災訓練」などがあります。その中で「にしよか夏祭り」や「にしよか文化祭」はまちづくり協議会が主体となって実施しています。

9年目を迎えた「にしよか青パト安全部隊」は、今回九州地区防犯協会・九州管区警察局から表彰を受けることができました。



夏祭り



文化祭



避難訓練

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

昨年の文化祭は舞台等の演舞については全てDVD放映での鑑賞となりましたが、今年は体育館や公民館での出演が出来ました。小学校体育館でも公民館でも満員となって活気あふれる文化祭となりました。さらに充実し町民がこぞって参加できる内容に高めていくことを検討していきます。



## 今後の展望や夢、目標など

- 1) 小学校との取り組みの強化 小学生と地域とのかかわりは、郷土カルタまち探検(3年生)、1・2年さつまいも栽培、夏祭り、文化祭、しめ縄づくり、計算ばっちり週間などがありますが、こうした地域と学校を結ぶ活動を行い、子どもたちの成長のバックアップをしていきたい。
- 2) 各団体役員の高齢化が進んでいるので、若い人の参加と意見交換の場を設け、幅広い年代で事業ができるよう取り組みたい。

代表者

西与賀まちづくり協議会 会長 嘉村 芳則

連絡先

西与賀公民館 住所 佐賀市西与賀町厘外 1405 電話：23-4683

# 嘉瀬まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

嘉瀬校区では、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の地域づくりを目標に挙げ、子どもを中心に「安心して住むことができるまちづくり」に取り組んでいます。

5部会の取り組みは？

- 【子ども育成部会】・・・子育てしやすい町を目指して
- 【福祉・健康部会】・・・健康で明るい町を目指して
- 【防災・安全部会】・・・安心安全な町を目指して
- 【環境部会】・・・花いっぱい美しい町を目指して
- 【ふれ愛・文化部会】・・・みんながふれあえる町を目指して



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

嘉瀬まちづくり協議会が立ち上がって12年。今まで取り組んできたことをさらに強化し、新しいことも取り入れ、元気な嘉瀬町づくりを進めています。

- ・他の良い取り組みを取り入れ、嘉瀬町バージョンへ（事例：嘉瀬町内団体の行事予定表）
- ・今までの取り組みを、親しみやすくバージョンアップ（事例：嘉瀬町イラストマップ）
- ・高齢者の参加を促すために、競技スポーツからレクリエーションスポーツへ（事例：スポーツ協会と一緒に）

## 今後の展望や夢、目標など

今は 限られたメンバーで活動している けど  
新しい人の参加を増やし、新しいことにもチャレンジ して  
応援団（関係人口）を増やし、「安心で元気」なまちづくりを行い たい！！

### 【具体的に】

- ・現行イベントの仕組みを見直し、もっと多くの人を巻き込むまちづくり。
- ・多様な大人の出番を増やし、人材を発掘しながらのまちづくり。
- ・他の地域、団体、学校、企業との連携による今までにない取り組みをするまちづくり。
- ・チャレンジへのサポート（人、資源）するまちづくり。

代表者

嘉瀬まちづくり協議会 会長 川原田 裕明

連絡先

嘉瀬公民館 住所：佐賀市嘉瀬町大字中原 1690 番地 電話：26-5208



# 巨勢まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### 【巨勢の佐賀弁にわか劇】

巨勢町では毎年11月、「巨勢町文化祭」を開催しています。全町民の皆様に参加を  
 お願いし、自慢の作品展示や日ごろ練習してきた活動の成果発表、小・中学生による  
 「少年の主張」や演奏・合唱等をご覧いただく一大イベントです。その中で、15年  
 前に巨勢の大人と小・中学生が一緒になって実施できるものがないかという発想から  
 始まったのが「にわか劇」でした。その第1回目は平成20年。元気アップ事業の取  
 組みでスタート。その後、その年に話題となった出来事を題材として取り上げ、毎年  
 開催するようになりました。今では巨勢自慢のイベントとして定着しています。

### 【巨勢動画チャンネル】

ICT時代に合わせ、令和2年から  
 市ホームページ「つながる巨勢」や  
 YouTubeを活用し、これまで  
 に巨勢町の行事や史跡、四季の風景  
 をご紹介する「巨勢動画チャンネル」  
 の動画93本を発信しています。  
 地域の皆様が主役の映像です。



巨勢町文化祭での「にわか劇」(平成30年)

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

### 【巨勢まち協設立10周年を記念する事業の展開】

アフターコロナのスタート年である今年度は、巨勢まち  
 づくり協議会設立10周年の記念すべき年にあたります。  
 4年ぶりの開催となる「巨勢まつり」や「巨勢町文化祭」  
 などの校区事業を10周年記念事業として謳い開催します。



## 今後の展望や夢、目標など

- ・今、まちづくり協議会の一番の課題は、若手の後継者発掘育成です。加えて、女性の方々への活躍の場を提供することです。
- ・今は仕事をリタイアされた方が中心になって活動を行っていますが、地域の若い人達や女性層としっかり連携を取り、みんなが安心できる楽しいまちづくりを行います。

### 【具体的には。(時間がかかるでしょう)】

- ・まち協は、巨勢町の各団体にて構成されています。まずは、各団体に若手・女性の登用や育成をお願いします。
- ・若い人達に、地域活動へのアンケート調査を行います。若い人達の各団体・まち協への質問・意見の集約を行い、今まで、地域行事や活動に参加されなかった問題点を探し出し課題解決を図りたいと考えています。

### 平成22年から開催の「巨勢公園ラジオ体操会」



**「みんなは一人の為に、一人はみんなの為に」**

代表者 巨勢まちづくり協議会 会長 石井 孝嗣  
 連絡先 巨勢公民館 住所：佐賀市巨勢町大字高尾104番地17 電話：26-9218

# 兵庫まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### 兵庫の里まつり「フル」を実施

- 【起】コロナ禍を乗り越えての久しぶりの開催を企画  
【承】まちじゅうのみなさんに来ていただこうと協議  
【転】その前にたちはだかった  
令和3年6月の「食品衛生法」強化改定  
「遵法」すべくまちじゅうで知恵を絞った  
【結】そのおかげで  
まちじゅうの笑顔が久しぶりに集った。  
まちじゅうの笑顔に久しぶりに出逢えた。



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

真夏真ただ中での開催を企画したため、兵庫の里まつりの模擬店出店に際し、改正食品衛生法**遵法**のテントの「三方ふさがり」に「八方ふさがり」となりそうな暑さ。その点をどう克服しようかと、「まつり後(あとのまつり)」でもひたすら協議を重ねている。



## 今後の展望や夢、目標など

今は コロナ禍明けでぼちぼち活動を様子を見ながら始めている けど  
「いまできる」ことを、徐々に増や して  
「そのとき現在の100%」でのまちづくりを目指し たい！！

### 【具体的に】

- 【共生・環境】的視点 地域を花でいっぱいになりたい。  
【めばえ】的視点 子どもたちの地域ごとの行事、まつりへの参加を応援したい。  
【イキイキ福祉】的視点 健康診断の受診率をもっともっと上げたい。  
【安全・安心】的視点 「ながら見守り活動」を推し進め「こどもが真ん中」を実践したい。  
【歴史・文化】的視点 元々地区ごとに開催されている行事、地区のまつりを応援したい。

### 代表者

兵庫まちづくり協議会 会長 徳島 秀文

### 連絡先

兵庫公民館 住所：佐賀市兵庫町大字淵 1295 番地 電話：23-3566

# 高木瀬まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### 3部会で活動しています。特徴的なことを紹介します。

◎子ども見守り部会では「高木瀬の子どもは高木瀬地域で守ろう」を旗印に、「ながら見まもり」活動参加者を募集し、現在 250 名超の方が会員です。この取組を広げ知ってもらうため、今年度は「まちづくり講演会」を 10 月 28 日に、福岡の今泉重利氏を迎え行いました。

このほか平日実施の「青パト巡回」と毎月行っている「子どもの居場所づくり」についても継続しています。青パト乗車講習会については 6 月 6 日に実施し参加者は約 40 名でした。

◎高齢者見守り部会では高齢化の中認知症も数年後には 5 人に 1 人と言われていることから、これまで「認知症サポーター養成講座」を開催しました。一歩進めるため、認知症の家族の方を対象とした「認知症患者を支えるやさしいまちづくり」の講習会を佐賀リハビリテーション病院の南里悠佑介医師を講師に迎え 9 月 9 日に研修会を約 80 人の参加を得て行いました。

また、小学生 4 年生を対象にも 12 月 6 日「キッズ講座」を開催し理解を深めてもらいました。

◎校区自治会長会では、昨年度安全安心についての「意識調査」を行いました。この調査に基づき、自治会長会と共催し、住民への日頃から防災・減災に対する関心を持ってもらうよう啓蒙活動を兼ねて、災害時の避難訓練を各種団体が一体となり 7 月 30 日、高木瀬小学校で住民約 800 名の参加を得て実施しました。これにより避難時の問題点に気づくことができました。

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

◎本年はコロナ禍が第 5 類に分類されたことから、これまで延期・中止しておりました「高木瀬ふれあい夏まつり」も 4 年ぶりに実施することができ、皆様から大変喜んでいただきました。令和 6 年 1 月 7 日には「ほんげんぎょう」も行います。

◎今後は、これまでの行事を見直しながら新たな形で住民のニーズに合うように取り組んでいきたいと考えています。

## 今後の展望や夢、目標など

◎現在「ながら見守り」に取り組んでいますが、これを子どものみならず高齢者、認知症の方、障害者など「配慮が必要な方々」まで広げ、「明るく顔が見えるまち」にしたいと考えています。

また、「災害に強い防災・減災のまち」にも取り組んでいきます。

### 【具体的に】

ながら見守り隊員をさらに増やし、防災士を増やしていきます。また、認知症に対する理解をさらに深めていきます。

### 代表者

高木瀬まちづくり協議会 会長 阿間見 健

### 連絡先

高木瀬公民館 住所：佐賀市高木瀬東五丁目 1 番 12 号 電話：31-3400

# 北川副まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

「ふれあう」【夏まつり、冬まつり、桜まつり、  
町区対抗グラウンドゴルフ】

「支え合う」【どけいくかんだ！ネットワーク  
(徘徊高齢者事前登録制度)】

「助け合う」【防災研修】

「心を育む」【子どもの安全・防災マップの配布、お帰りなさい運動（下校見守り）】

「守り伝える」【校区まちなめぐり】



ふれあい夏まつり



高齢者スポーツ大会

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍で多くの行事が中止になり、明けた今、担当者の中にも「しないで良いならせんでもよか」感が漂い、なかなかボランティア活動に割く時間が少なくなり、スタッフ参加者が少なくなってきました。そこで、多くの方が参加でき、スタッフも楽しめる行事イベントを再構築していきたいと考えています。

マンパワー不足を解消するため、これまで各種団体に任せていた会場設営や模擬店などの役割分担を改め、仕事ごとに組みなおし、ミスマッチを減らそうとしています。

## 今後の展望や夢、目標など

今は 特定のスタッフに頼りすぎている けど  
マニュアル化や入念な打合せを して  
もっと多くの方が参加して協働出来るイベントをしたい！！

【具体的に】

① イベントの再構成 ②入念な打合せ ③マニュアル化

⇒ 人が輝き まちが輝く 北川副

代表者

北川副まちづくり協議会 会長 福田 忠利

連絡先

北川副公民館 住所：佐賀市木原三丁目12番8号 電話：23-3086



# 本庄まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

～本庄町では「子どもを真ん中に置いたまちづくり」を進めています！～

### 本庄感謝まつり

町民文化祭と日曜フリー参観デーを合体して、地域と小学校の融合を深めています。

● まつりの特徴は・・・

- ① 児童と公民館サークル等とのコラボによるステージ発表  
同じステージに立つには数時間に及び合同の練習が必要です。  
この練習が融合のミソです。
- ② 特別活動授業として体験活動等の提供・支援  
各種団体が様々な体験活動の場を設けて、児童とふれあいながら体験活動を支援します。



1年生とリズムダンスサークルとのダンス

● 目的は・・・

- ① 地域の人達と児童がふれあい・交流することで、お互いの関係を深める。
- ② 保護者（若い世代）が参観することで各種団体の活動を知り、地域活動に関心を持ってもらう。



5年生と食改とのかたりべの里饅頭づくり

● 融合のキーポイントは・・・

- ① まつりを学校の授業として成立させることが鍵
- ② まつり当日だけでなく、練習の過程が重要

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

様々な機会を捉えて、直接ふれあい、交流する場を設けること。  
各種団体の活動を広く多くの方々に認識してもらうこと。

## 今後の展望や夢、目標など

今は いつも同じメンバーで事業を実施している けど  
地域の様々な人たち（特に若い人達）と連携 して  
まちの活性化を図り たい！！

【具体的に】

まちづくりを進めるためには、人づくりが重大な課題である。  
出番→役割→承認→称賛の開発的人材育成で根気強く人づくりを進めていきたい。  
また、システム化することにより継続した活動につなげていきたい。

代表者

本庄まちづくり協議会 会長 川崎 健三

連絡先

本庄公民館 住所：佐賀市本庄町大字本庄 279 番地 8 電話：23-2691

# 鍋島まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

### 「2023 養正ふれあいまつり」を開催(10月22日・日)

- ◆ 演奏・ダンス等の舞台発表、絵画・書道等趣味の作品展示、飲食物や農産物の販売・ゲーム等の出店に住民約1,300名が来場し、楽しんでいただいた。
- ◆ まつりの準備や運営では、まち協構成員や自治会長など多くの方がスタッフとして係わり、相互の交流も図られた。



佐賀星生学園生徒のダンス



力作揃いの趣味の作品展示



来場者でにぎあうテント村



本部テントの受付スタッフ

### 鍋島小の総合学習への参画・支援

- ◆ 鍋島小の“地域に学ぶ・地域で学ぶ”をテーマの総合学習に対して、役員・構成員が参画支援。
- ◆ まち協のことも3年生から説明しており、理解を深めるとともに参画意識の高揚に努めている。



【3年生:ニュースポーツを体験】

まち協・古賀部会長の指導



【4年生:防災を学ぶ】

まち協・吉田部会長の説明



【6年生:郷土の歴史や史跡を学ぶ】

まち協・雪竹さんが説明



【3年生から:まち協を学ぶ】

まち協・江頭会長が説明

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

- ◆ 災害対応訓練に関して、一般住民も参加した避難訓練や防災機材の取り扱い訓練の実施など取り組みの充実を図っていききたい。
- ◆ また、ここ数年開催できていなかった、校区内の史跡めぐりなどを実施し、「歴史と未来がふれあうまち鍋島」の実現に努めていききたい。

## 今後の展望や夢、目標など

- ◆ 現在、まち協活動は高齢者が主体。今後、若い世代や女性が積極的に参画できる環境づくりをめざしたい。⇒子育て世代のまち協活動への参画促進に向けた検討
- ◆ まち協構成団体とのゆるやかな連携とともに、小中学生、佐大医学部学生、校区内企業勤務者など幅広い方々を含めた活動も検討したい。

代表者

鍋島まちづくり協議会 会長 江頭 嘉廣

連絡先

鍋島公民館 住所: 佐賀市鍋島一丁目1番1号 電話: 31-2984



# 金立まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

金立町は、山と川、田園にかこまれた自然豊かな町です。山では、登山道にキャンプ場、神社やサービスエリアで賑わっており、ふもとには徐福にまつわる施設や葉隠れ発祥の地などの史跡があります。田園では、約7000年前の東名の縄文遺跡があります。また、佐賀市の浸水被害を守るための巨勢川調整池があり、朝夕には、周囲2.6Kmを水鳥や水面に映る景色を見ながらウォーキングやランニングを多くの方が楽しんでいます。

協議会には、地域活性化部会、防犯・防災部会、子ども育成部会、福祉部会、自然環境部会があります。自治会長会をはじめ、消防団、PTAやスポーツ協会、子ども会などの団体と連携しながら活発な活動を行っています。



## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ禍が明け、活動を自粛していたものを元に戻しつつ、今まで以上の成果を期待し内容に工夫を凝らしている。ふれあい運動会では、子どもに負担をかけない範囲で、住民とのふれ合える競技種目とした。また、金立町の最大イベントである”はぐくれの里まつり”にも子どもみこしパレードを復活させ、会場には今まで以上の出店やキッチンカーを入れ 子ども達も縄文遺跡の出店火起こし体験・クラフトコーナー・ストラックアウトコーナー等で楽しみました。

## 今後の展望や夢、目標など

今は 東名遺跡で貝塚が発掘され展示されている	けど
講演会・出前授業などを	して
興味を持ってもらい、展示館に足を運んでもらい	たい！！

### 【具体的に】

東名遺跡は、約7000年前の貴重な遺跡であるが、住民の皆にはなかなか興味を持ってもらえていない。小学校・公民館などで出前授業を行ってもらい遺跡の知名度を上げる。発掘された現場を見られれば興味を持ってもらうには、一番良いのだが何か良いアイデアはないものか？

代表者

金立まちづくり協議会 会長 鐘ヶ江博文

連絡先

金立公民館 住所：佐賀市金立町大字千布2333番地2 電話：98-1016



# 久保泉まちづくり協議会

## 団体や地域の自慢したいこと

「エヒメアヤメの里久保泉」は豊かな自然に恵まれ、各種イベントを通じて人々の交流が盛んな地区です。中でも国の天然記念物であるえひめあやめの保全活動を通じて町民の融和・交流を図っています。

具体的には①小学生を対象とした、えひめあやめの総合学習、講座の実施②町民による自生地の管理と育成作業③開花時期に、えひめあやめ祭りを実施、一般公開をしています。又、子どもたちが喜んで参加できる行事として盆踊り・花火大会、ほんげんぎょうを開催して、町の活性化と世代間交流を深めています。現在まちづくり協議会の高齢者対策委員会では「デマンドタクシー」を検討し住民が安心して暮らせる町づくりをめざしています。



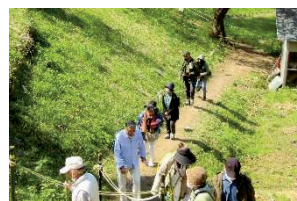
エヒメアヤメ植栽



ほんげんぎょう



夏まつり



えひめあやめまつり

## コロナ禍が明けた今、考えていること・工夫していること

コロナ渦の中、令和元年度と令和2年度はイベント全くできない事態が続きました。しかしながら、このままではイベントが途切れてしまうとの思いから令和3年度から感染対策を徹底し、一部規模を縮小して手探り状態で開催しました。

そして昨年度のえひめあやめ祭りはフル開催にこぎつけました。

記録と記憶をたどりながら継続性を保ち、逆に何か新しいものを取り入れないか模索しました。

その中で、昨年度から「コロナ渦でも工夫して友達との触れ合いを楽しみました」をテーマに「夏の思い出写真館」を実施して文化祭に展示しています。

## 今後の展望や夢、目標など

### 今は行事に参加している人が高齢化しているけど

幅広い年代、特に若い年代・子ども達の積極的な参加を期待して  
子ども達にとっても魅力あるまちにしたい！！

### 【具体的に】

- ・イベントの告知・行事内容を工夫して、若い世代が参加しやすいイベントを行う。  
具体策として
  - ① 小学校・PTA にお願ひし、小学生の参加を働きかける。
  - ② 公民館だより・自治会回覧板で告知する。
  - ③ まち協構成団体に会議などで参加をお願ひする。
- ・地元企業で働く外国人に地域イベント、行事に経営者を通じて参加を働きかける。

### 代表者

久保泉まちづくり協議会 会長 井手 裕幸

### 連絡先

久保泉公民館 住所：佐賀市久保泉町大字川久保 1363 番地 1 電話：98-0001